



大日倉庫 安全ニュース

年末号
 (発行日)
 2014年12月1日
 (発行元)
 大日倉庫(株)

今年も早いもので残すところあと1カ月となりました。

12月は、交通事故件数が非常に増加する傾向があります。

気持ちが焦ってしまい、普段なら注意出来ている事も散漫になりがちです。

今回は、大切な時間をロスしないための注意ポイントを紹介します。



急がば回れ！忙しい時こそ安全運転で！

■忙しいからといって焦って運転すると、事故を起こし結局はもっと大きな時間のロスに繋がります。例えば・・・■

○前方の信号が黄色信号になったので、アクセルを踏み込み交差点をギリギリ通過。。。

⇒交通事故の約7割は交差点内で発生しています。リスクの高い場所でこのような運転は非常に危険です！

たとえギリギリ信号を通過できたとしても、その先の信号が赤である事が多いので時間短縮にはなりません。

○次の訪問先のお客様の資料を、信号待ちや渋滞走行中に確認。。。

⇒わき見運転は追突事故の原因となり非常に危険です。時間にゆとりを持ち、クルマに乗っているときは運転する事に集中しましょう！

また、運転中に携帯電話等を注視する行為は道交法で禁止されており、違反した場合は反則点と罰金を科されます。道順は出発前に調べる事を習慣にし、どうしても伝票・地図等を確認したい場合は、必ず安全な場所に停車してから確認するようお願いします！

○高速道路を走行し次の行先へ。急いでいるのと気持ちの焦りで、つつい速度オーバー気味に。前方車両を追い抜くため車線変更を繰り返す。。。

⇒これからの季節は路面凍結の可能性もあり、急なハンドル操作は予期せぬクルマの挙動となり大事故につながる可能性があります。また、年末は警察の速度取締も厳しくなっており、速度違反による行政処分になりかねません。


近年、飲酒運転は減少傾向にありますが、油断は禁物です。
 とくに、前の晩に飲んだお酒が翌日まで残ってしまう「酒気残り」にはくれぐれも注意してください。
 また、自転車でも「酒酔い運転」の違反に問われますから、お酒を飲んだら自転車にも乗らないようにしてください。



12月は師走といわれるように、慌ただしい月ですので、運転する際には、早めの出発を心がけるなどして、急ぎの心理に陥らないことが大切です。
 急いでいると、基本の安全確認を怠りがちになります。交差点での左右の安全確認や、一時停止などを徹底するようにしてください。



冬季はたとえ雪の積もらない地域でも、路面温度の下がりやすい橋の上や、トンネルの出口などが凍結しやすく、十分な警戒が必要です。
 また、強いブレーキを踏むとスリップし、対向車線に飛び出すなどの事故の原因になります。前車の予期せぬ動きに備えて車間距離を十分に保ち、優しいブレーキを心がけるようにしてください。



皆さんこれから忙しい時期となりますが、新年を気持ちよく迎えらるよう事故に十分注意し、一年の有終の美を飾れるようにしましょう！